



令和4年11月28日

**研究主題 「学ぶこと・考えることを楽しむ」****～自分の考えをもち広げ深める力の育成：「考えの形成」を促す指導法の工夫～**

11月28日、今年度5回目の校内研究が行われた。今年度5回目の校内研究は、「算数科」での実践となった。1年1組で行われた「わかりやすく せいりしよう」では、ものの個数を種類ごとに整理して、簡単な絵や図に表して、特徴を読み取り、データの個数を分かりやすく表す方法を考えていった。

児童の興味を引き出すために、普段休み時間に使用しているレゴブロックやLaQを取りあげ、床に落ちているこれらを数えて、どれが落としやすいのかを調べようという生活とも結びつく導入で始まった。また、今回は算数で使うブロックではなく、MetaMoji ClassRoomを使用し、ページ内にあるレゴブロックやLaQを模した画像を動かすことで、様々な組み合わせを考える際に、線や図形を直接書きこみながら試行錯誤できるようになっていた。

めあての確認や「分かりにくいから、整理してみよう！」という授業者の発言に対して、「これって算数だ！」と声が挙がり、日常生活と算数の結びつきを感じることができた。児童は様々な種類の図形を動かしながら、色や形で仲間分けしていた。途中で授業者があえて分かりにくい整理の仕方を見せた時には、「これじゃ分からない！」と声が挙がり、児童からすき間をそろえるや、一列にした方が分かりやすいなど、児童それぞれが工夫を凝らして問題解決に向かっている様子を見ることができた。

発表の際にはMetaMoji ClassRoomの特徴である共有の容易さを生かして、他の人の画面を自分のPC上に表示することで、他にはどんな工夫をすることができるのかを自分と比較しながら考えていた。

研究協議会では、「授業・人」塾代表である田中博史先生を講師としてお招きし、授業と協議会の指導・講評をいただいた。

児童がめあてを明瞭に把握するための手立てや、児童の創造性を発揮させるための授業者の例示の仕方に加えて、ICT活用を行う上での注意点や、ノートの活用法などのツールに関することもご指導いただいた。今回ご指導いただいたことを意識しながら、算数科の授業だけでなく、他教科にも生かして、文教大学附属小学校全体で授業の質を高めていきたい。

